

第一弾「ぶっちゃけどうなの？藤阪小 PTA アンケート結果 まとめ

ご回答いただいた皆さん、ありがとうございました！

<総括>

*アンケート 7月中旬～7月末までに実施。回答数 86 人。

*PTA 会員数(279 家庭)に対して、任意の回答としては一定数の回答があった。

*「期待通り活動している(「ほとんど～」含む)」という方が7割以上いた。

*「役員」「委員」いずれも「できればやりたくない」が過半数を超えた。

*つまり、期待に応える活動をしている印象がありながら、「負担感が多く、役員等の“担い手”にはなりたくない」という状況。

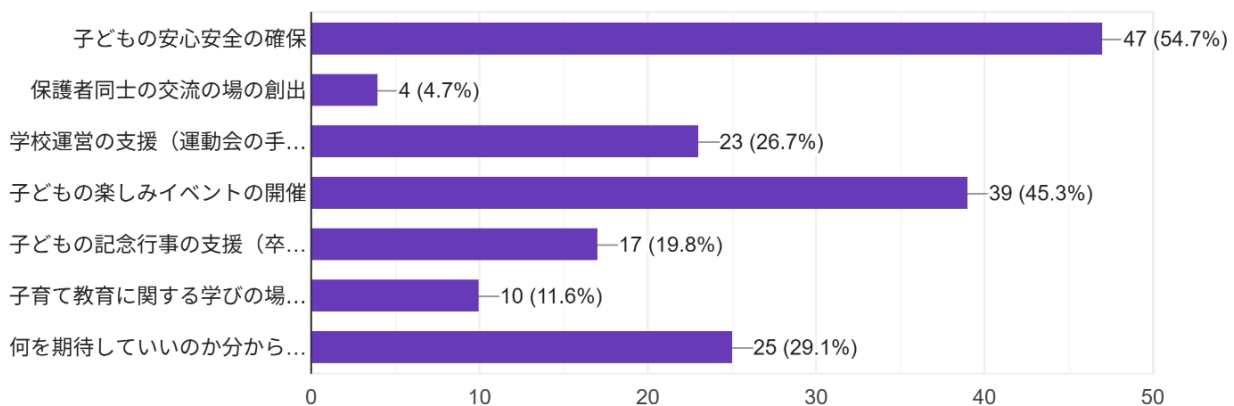
*また、活動のイメージとして、「子供たちのためにがんばっている」という方も半数いる一方で、「非効率」「何をしているのかわからない」を合計すると同じく半数に上る。

→会員数の確保と役員担い手の確保を目指していくには、「PTA 活動をより意義のあるものにしていく」「負担を軽減する」の2点を進めていく必要がある。

<各項目結果>

小学校PTA活動に対して期待することを選択してください（複数回答可）。

86 件の回答

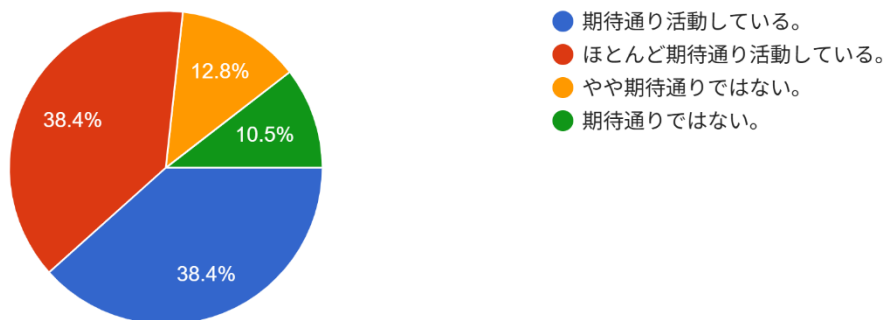


・子どもの安心安全の確保を選択した人が 50%を超えた。次に「楽しみイベント」「何を期待していいのかわからない」が続く。現在実施している「楽しみイベント」は「藤小校区まつり」であり、「藤小校区まつり」への期待が見受けられる。

・「何を期待していいのかわからない」を選択した 25 人のうち、「委員経験がない人」は 16 人、「委員経験がある」人は 9 人である。

藤阪小PTAは期待に応えていますか？該当するものを一つ選んでください。

86 件の回答



- ・「期待通り活動している」「ほとんど期待通り活動している」が76.8%となった。委員経験のない人とある人でも大体比率が同じだった。
- ・期待通りの理由は「お祭りをやってくれている」「通学路の安全確認の感謝」など。
- ・期待通りでない理由には「子供の安心安全の確保は期待しているが、PTA活動のお陰で確保されているのかは疑問。」「生徒数に応じた各役員と仕事分担の見直しがありませんまま、役割だけが残っている印象」といった意見も見られた。

藤阪小PTA活動のイメージで一番近いものを選択してください。

86 件の回答



半数近くが子どもたちのために頑張って活動しているという印象を持っている。「非効率」「わからない」もそれぞれ4分の1程度。

PTA本部役員（会長、副会長、会計、書記）選出...ならないとしたら」という仮定でお答えください)

86 件の回答



・「役員をできればやりたくない」は約8割。「負担が小さくなるのであれば引き受けてもいい」が約1割(8人)いる。

・委員の結果と比べても、負担感は「役員>>委員」という印象であることがわかる。

※例年、役員立候補はほぼないが、委員立候補が見られる。「(児童1カウント制があるため)役員になる可能性があるくらいなら委員になっておく」という屈折した状況と一致している。役員の負担感を“委員程度”にできるかが、今後存続のカギだと思われる。

専門委員（給食委員、生活委員）、学年委員など委...らないとしたら」という仮定でお答えください)

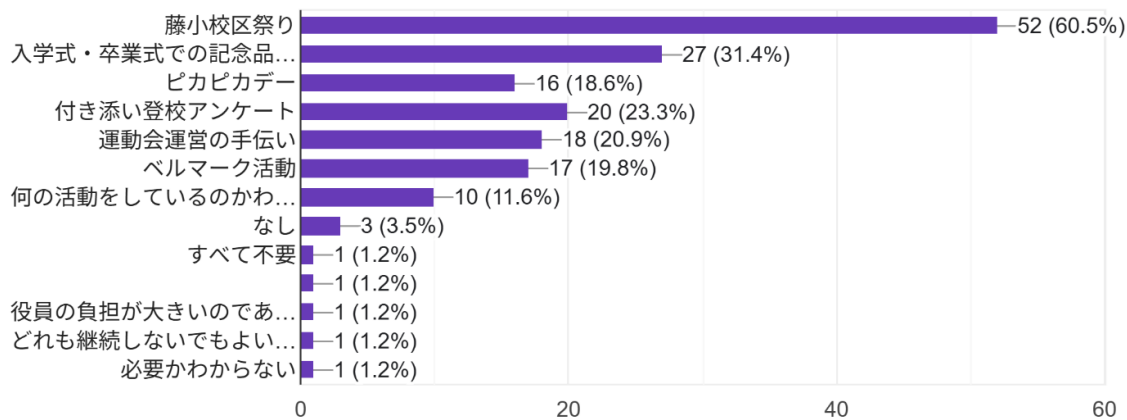
86 件の回答



委員では「できればやりたくない」は6割程度に下がり、「負担が小さくなるのであれば引き受けてもいい」が3割程度に上がる。「役員は絶対嫌だが、委員なら・・・」という方が一定いる。役員と委員の違いが分からないといった声もあった。

現在の活動で有意義に感じている、続けた方がよいと考えるものを選択してください（複数回答可）

86 件の回答

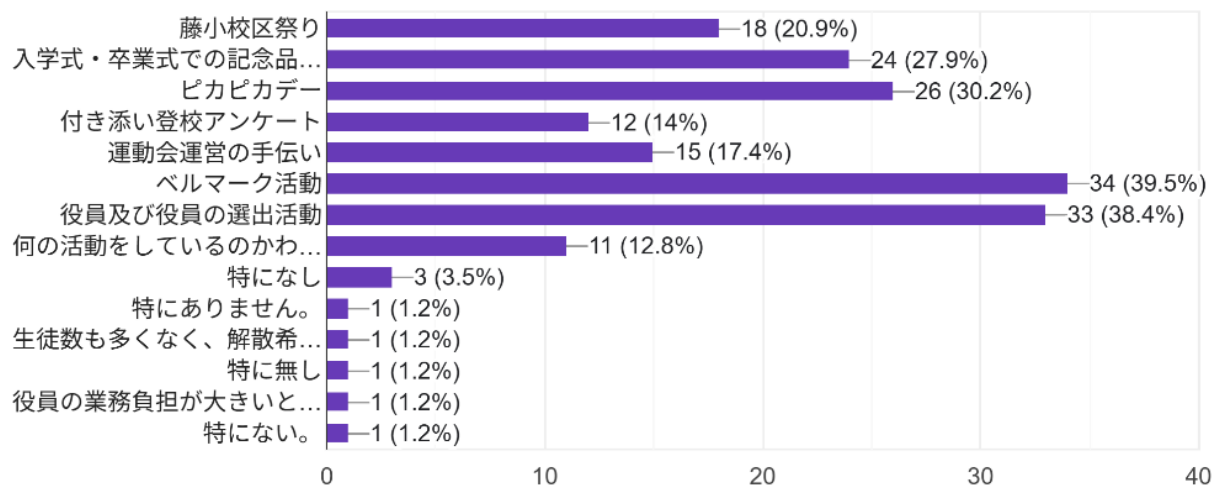


・有意義な活動の 1 位は「藤小校区まつり」がとびぬけて多い。「記念品」「付き添いアンケート」「運動会運営の手伝い」と続く。まつりについて、「できるのあれば子供たちの為に実施してあげたいと思うから」という声の一方、「祭りは楽しくて続けてほしいけど保護者負担が大きいから何ともいえない」といった声もあった。

・PTA に期待するものとして一番多いのは「安全安心」だったが、安全安心活動である「付き添い登校アンケート」の票数はあまり伸びていない。

現在の活動で見直した方がよいと考えるものを選択してください（複数回答可）

86 件の回答



・「見直した方がよい活動」はばらけた。「ベルマーク」「選出活動」「ピカピカデー」「記念品」と続く。

・「有意義である」で多かった「藤小校区まつり」を選択した人も2割いる。

・声としては、「少しでも PTA の活動内容を省略して役員に負担がかからないようにした方が良い」「1 児童につき 1 回は PTA 活動をしなければいけないという制度が心苦しい」「記念品はなくても特に支障はない」といったものが見られた。

これから

ここまでお読みいただきありがとうございました。

今後についても少し触れておきます。

藤阪小 PTA 本部では、「PTA を存続させる」という方向性で進めていこうと考えています。

いくつか理由を紹介すると・・・

1. 「PTA は例年通り活動しないとイケない」は思い込みで、自分たちで決めて活動できる！
2. PTA 会費を原資に積み立ててきたお金がかなり残っている
そして今回、アンケートを取ってみたことで
3. なんだかんだ PTA は必要と思われていることがわかった といったところです。

今回アンケートに答えていただいたのは全体の約3割。

回答しなかった方たちの実態、本音はわからないままです。

今後、加入意思を確認することで確実に人数は減ると思いますが、

PTA に加入しないことを選択した場合、

「会費と積立金の使いみちの意思決定に関与できない」ということが一番大きい影響かと思います。

これは、PTA 会員になることのメリット、デメリットの話というよりは、

藤阪小の子どものために集めてきたお金をしっかりと藤阪小の子どもに還元していくために、

藤阪小 PTA を存続させる必要があるという問題です。

同じ問題意識を共有していただければ幸いです。

また、「役員、委員が活動実態に比べて、多すぎる」という課題もあります。

現時点の考えでは、「委員」という位置づけは廃止し、「役員」のみのスリムな体制に移行します。

「校区まつり(続けるのであれば)」などの際に、有志のボランティアを募る、という主体性のある団体に見直していく方針です。

このあたりは規約改正の際に詳しくお伝えします。

それでは、第 2 弾アンケートにもご協力お願いします。

令和7年9月 藤阪小 PTA 本部